

常時啓発事業のあり方等研究会 議事概要

1 日 時 平成 23 年 11 月 25 日（金） 10:00～12:00

2 場 所 総務省共用 10 階会議室

3 出席者 佐々木座長、岡山委員、小野委員、川上委員、小島委員、小玉委員、
佐藤委員、清水委員、林委員、松本委員、谷田部委員、吉村委員

4 議事次第

（1）開会

（2）意見交換

（3）閉会

5 概 要

- 地域の協議会は、オフィシャルなルートと国民との間の媒介項であり、そういう位置づけをビジュアル化し、構図を明確にしたらよいのではないか。具体的に取り組んできたこと、成果、今後やるべきことを各論的にまとめてみてはどうか。
- 主権者教育には、家庭教育や学校教育が果たす役割、成人教育や社会教育もしくは生涯教育など様々な取組があるので、ある程度明確にしたほうがよいのではないか。
- 明るい選挙推進運動は、これまで浄化運動や選挙への参加に重点があり、それが旗印であった。新しい時代のニーズに応えた旗印が必要、自立した主権者を目指すことが新しい時代のあるべきビジョンだ、という意見も地域の協議会であった。
- 学校教育とどのようなアプローチをしながら連携すればよいのか、なかなか見えてこない。地域の協議会の方々が、学校教育との連携を図っていくための手がかりを、さらに積極的に情報提供していくことが必要ではないか。
- 目指す主権者像のキーワードとして、「社会参加」と「政治的リテラシー」を出していくことはよい。また、新たなステージとして主権者教育をこれから出してはどうか。
- 全国的な状況として、選挙管理委員会の事務局組織が合理化されている中で、どのようにサポートしていくかという部分を示す必要があるのではないか。
- 選挙管理委員会は、地域の協議会の方々と活動的なNPO等をつなげてきた。今後ど

うなるのか不安があるため、何をすべきかを明確にしていればと思う。

- 若者の学校教育との連携のほか、中学や高校を卒業してすぐに社会に出ている成人若年層をどう位置づけていくのか。
- 地域の協議会の活性化について、公募制の導入を強調してもよいのではないか。一般の方々にもボランティア的に開票作業等に参加してもらってもいいと思う。
- 開票事務を町内会や自治会の方々にも担っていただくことは、今後の明るい推進運動にとってもよい方向性だと思う。
- 選挙そのものを市民の手に戻すことで常時啓発も効果が上がる。実際に実施するのはかなり困難を窮めると思うが、一歩でも近づけたらよいと思う。
- 児童会選挙等でも常時啓発の活動が行われている。また、次期学習指導要領において政治教育をさらに充実して位置づける必要がある。
- 生徒は教えられる客体か、あるいは主体的に学校形成の一翼を担うスクールコミュニティーとして捉えるべきか、わかりやすく整理する必要がある。また、身近な生活の場としてのコミュニティーとして、学校を位置づけていくことも必要だと思う。
- P T A等と積極的に連携して、一緒に問題を考えていく必要性に言及してもよいのではないかと思う。
- 地域の明るい選挙推進協議会活動の活性化に関して、教材の提供やシンポジウムの開催等、いろいろなプラクティスをどうやって共有していただくかが重要だと思う。
- 地域の協議会の方々の活動に役立てていただくように、メディア活用についての戦略的で前向なダイナミズムを、何らかの形で示していただきたい。
- 地域の協議会が意見を取りまとめ提言することにより、住民と選挙管理委員会のインターフェイスの役割を果たし活動の活性化につながった。自発的な組織として、組織論的な位置づけを明確にし、必要な手立てがとられるようにする必要がある。
- 本格的な主権者教育の一環として、常時啓発に関係することを出していただいて、選挙管理委員会や関係部局等と話し合えるシステムをつくるのが、主権者教育を進めるための基盤になると思う。
- 地域の協議会への財政的な支援が困難になっている。役所との関係をある程度分離して、協賛を求める方法等を含めて考えてはどうか。
- 自立運営の取り組みでは、会費制や収入を伴う自主事業の実施などが考えられる。
- 主権者を育てていくためには、もっと政治を近づける、政治側がもっと子どもに近づいていく姿勢が必要だと思う。
- 若年層の啓発や将来の有権者教育も大切だが、今の有権者に対して啓発を働きかける

ことはできないか。地域の課題について、行政を横断して街づくりのコーディネーターの役割を果たせないか。

- 地域の協議会は、学校だけではなく自治という部分で、課題に働きかけができる強みをもっていると感じた。
- アメリカでは、模擬選挙を行うさまざまな団体があり、2008年の大統領模擬選挙では約700万人が最終的に投票している。

以上